

第3回オープンサイエンスデータ推進ワークショップ — 具体的事例を中心に —

プログラム

日時： 2016年9月27日(火) 13:00 - 18:00 (懇親会：18:20-20:20)

9月28日(水) 10:00 - 16:30

・(*)印は招待講演 40分 (講演30分+質疑応答10分)

・それ以外は 20分 (講演15分+質疑応答5分)

場所： 京都大学理学研究科1号館563室 (共通大会議室- 北側ウイングの5階)

主催： 京都大学理学研究科附属地磁気世界資料解析センター

共催： 京都大学宇宙総合学ユニット、京都大学学際融合教育研究センター、
世界科学データシステム

- 9月27日(火) 午後** (座長： 家森俊彦)
- 12:00— 受付開始
- 13:00—13:10 趣旨説明・他
- 13:10—13:30 オープンサイエンス推進に関わる国内外活動の現状
村山 泰啓 (情報通信研究機構)
- 13:30—14:10 (*) 多様な学術研究活動を育む全学研究データマネジメント環境構築事業
梶田 将司 (京大・学術情報メディアセンター)
- 14:10—15:00 海外視察報告、IDW2016参加報告、他
(兼：多様な学術研究活動を育む全学研究データマネジメント環境構築事業 第6回月例会)
北條 風行 (京大附属図書館)
込山 悠介 (国立情報学研究所)
家森 俊彦 (京大・理学研究科), 他未定
- 15:00—15:20 **休憩**
- 15:20—16:00(*) KEGG データベースの現状
五斗 進 (京都大学・化学研究所)
- 16:00—16:40(*) デュアル・ユースという考え方
中野 不二男 (京都大学・宇宙総合学ユニット)
- 16:40—17:00 地質情報のオープンサイエンスへの取り組み
牧野 雅彦 (産業技術総合研究所)
- 17:00—17:40(*) 1996-2001年頃のGEONETのデータ公開とそのサイエンスにおける
インパクト
宮崎 真一 (京都大学・理学研究科)
- 17:40—18:00 コメント (+ ディスカッション)
林 和弘 (科学技術・学術政策研究所 科学技術動向研究センター)
- 18:20—20:20 **懇親会** (北部生協2階)

9月28日(水) 午前 (座長 村山 泰啓)

- 09:30— 受付開始
- 10:00—10:10 本日の予定・他
- 10:10—10:30 基本的データの長期保全・公開態勢における問題点
渡邊 堯(情報通信研究機構)
- 10:30—10:50 MMORPG技術を利用した学際的協働プラットフォームの構築例～バーチャル美術史・近代史博物館
西村 一 (海洋研究開発機構)
- 10:50—11:10 伊能忠敬の「山島方位記」に基づく19世紀初頭の日本の地磁気偏角の解析
歴史地理と地磁気の学際融合解析 第二回報告
辻本 元博 (日本地図学会会員)
- 11:10—11:30 休憩
- 11:30—11:50 国立環境研究所のオープンサイエンスへの取り組み 研究データへのDOI付与
白井 知子 (国立環境研究所)
- 11:50—12:10 国立環境研究所のオープンサイエンスへの取り組み 現状と課題
尾鷲 瑞穂 (国立環境研究所)
- 12:10—12:30 極域でのオープンデータについての最近の話題
金尾 政紀 (国立極地研究所)
- 12:30—12:50 太陽地球系科学分野におけるデータへのDOI付与の現状と将来について
能勢 正仁 (京都大学・理学研究科)
- 12:50—13:30 昼食

9月28日(水) 午後 (座長：能勢正仁)

- 13:30—13:50 豊富な検索語で検索可能なデータリポジトリの構築に向けて
池田 大輔 (九州大学・システム情報科学研究院)
- 13:50—14:10 サイエンス成果の創出に向けたデータアーカイブと解析環境の融合
梅村 宜生 (名古屋大学・ISEE)
- 14:10—14:30 研究成果の利活用促進を支える基盤についての一考察
岡山 将也 (株式会社日立コンサルティング)
- 14:30—14:50 休憩
- 14:50—15:30 (*)ディープラーニングの教え方-実習形式による宇宙天気予報実験
村主 崇行 (理化学研究所)
- 15:30—15:50 IUGONET講習会とアウトリーチ活動 (仮題)
新堀 淳樹 (京都大学・生存圏研究所)
- 15:50—16:30 総合討論・他
(終了)